

平成29年4月13日

輸送動向について（3月分）

1. 輸送概況

今月は、月初の東海道線旅客列車自動車との衝撃などの影響により、月全体で高速貨43本が運休となった（前年は、高速貨42本が運休）。

コンテナについては、新車販売の好調に伴い、大手自動車メーカーの自動車部品が、東海地区発東北地区向けで荷量が倍増したことに加え、九州・関東地区間での輸送が好調に推移し大幅増送となったほか、化学薬品・化学工業品が前年を上回った。また、トラックドライバー不足により鉄道へのシフトが続いている食料工業品が、大阪地区から北陸地区へのビール輸送が順調に推移し前年を上回ったほか、積合せ貨物が堅調な発送となった。

一方、農産品・青果物が、北海道地区において台風10号の影響継続に加え、民間流通米輸送が全国的に低調となり前年を大きく下回った。また、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要の落ち込みにより減送となった。その結果、コンテナ全体で、前年比101.8%となった。

車扱については、石油が気温低下に伴い灯油を中心に好調に推移し、車扱全体では前年比102.6%となった。

コンテナ・車扱合計は、前年比102.1%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,128	2,089	101.8%	21,994	22,116	99.4%
車 扱	836	815	102.6%	8,944	8,661	103.3%
合 計	2,964	2,905	102.1%	30,938	30,777	100.5%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	175	190	-15	92.1%
	化学工業品	194	191	3	101.5%
	化学薬品	136	131	5	103.6%
	食料工業品	334	325	9	102.9%
	紙・パルプ	282	287	-5	98.3%
	他工業品	152	141	11	107.9%
	積合せ貨物	256	254	2	100.8%
	自動車部品	86	68	18	126.5%
	家電・情報機器	41	40	1	100.3%
	エコ関連物資	41	41	0	100.7%
	その他	431	422	9	102.3%
	コンテナ計	2,128	2,089	39	101.8%
車 扱	石油	571	549	22	103.9%
	セメント・石灰石	128	132	-4	97.2%
	車 両	77	76	1	101.6%
	その他	60	58	2	103.4%
	車 扱 計	836	815	21	102.6%
合 計		2,964	2,905	59	102.1%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）